

令和6年度心の復興交流事業補助金

団体名	事業名	事業の目的・概要	補助金額(円)
一般社団法人たまご村	被災者の健康寿命を推進する健康麻雀教室の開催	本事業の目的は「共に叶える、暮らし方。働き方。」を理念にした仮設商店街たまご村が中心となり、全国的にも参加者が増えてきた「健康麻雀教室」を継続的に開催することで、市内被災者への認知度を上げ参加者を増やすことで、世代間交流や新しい出会いの場として笑顔あふれるコミュニティを作り上げる。さらに「麻雀で頭を食で身体を」をキャッチフレーズに令和4年度に行った「健康おかず」と「健康情報」のクオリティを上げ提供することにより健康に一層の関心を持ってもらい、心と身体の総合的な復興の実現を目指すことである。	1,460,000
一般財団法人みらい創造財団 朝日のあたる家	地域資源を活用したつながりと生きがいの好循環による心の復興	本事業の目的は、地域資源である竹等を活用し、地域問題の解決と多様な交流を通して、被災者のつながりや生きがいの好循環を創出することで心の復興に寄与することである。概要は、まず、高齢化や費用負担が課題となっている竹林の伐採と、伐採した竹を活用した道具やおもちゃづくりを通し、被災者の主体的な参画や活動、交流を生み出す。次に、道具の寄附や新聞掲載等によって、広く地域からの賛同と認知を得ることで伐採の相談と協力者が増え、結果として被災者の参画と交流、コミュニティが広がる好循環を生み出していく。	1,828,000
合同会社ぶらり気仙	“地域資源”を通じた体験による交流を通じたつながり強化と生きがいづくり事業	地域資源を活用した多種多様な交流を通じて、つながりを強化し、“食”に興味を持つ被災者に対して、地域を知り、食材、料理を知り、ヒトを知ること、地元を好きになり、陸前高田で生きることを誇りに思える生きがい、やりがいを感じるコミュニティ構築を目的としている。 具体的には食の専門家を招聘し、被災した生産者や飲食店、高校生、一般市民を対象とした1)自然体験の提供 2)地域資源を用いた交流を行うものです。また次年度以降にも本事業参加者を軸としたコミュニティ化に取組み、持続可能な取組みへと成長させていく事業。	2,000,000
特定非営利活動法人 Aid TAKATA	新しい交流施設を活用した幅広い世代間の新たな生きがいづくり	川原川公園の中心部に位置する交流施設(ゆめちゃんハウス)を活用し、幅広い年代層の方々の交流をきっかけに生きがいをもって前向きに生活することを目的とし、さらに文化や伝統を継承する共に、新しいモノづくりを通して生きがいを生み出すことを目指すものとする。	1,859,000
合計			7,147,000